

め、生産者段階で分かる簡易なマニュアルを作成する必要がある。

このように水稲乾田直播栽培の課題は山積しているが、「省力・低コスト栽培研究会」の課題として一つずつクリアしていく必要がある。

終わりに

水田農業をめぐる情勢は刻一刻と変化しており、「スマート農業」に象徴されるような効率のかつ収益性の高い水田農

業の実現が求められている。一方、水田農業は、食料安全保障や多面的機能など社会的共通資本としての役割も大きい。

今回、「省力・低コスト栽培研究会」の水稲乾田直播技術導入に向けた取り組みを紹介したが、当研究会は、水稲直播栽培技術確立のみが課題ではない。新たな排水対策機械による排水性改善実証試験、グランドカバープランツを活用した畦畔管理、畑作物土壌処理除草剤の少量散布など多岐にわたる現地実証試験にチャレンジしている。

当研究会は、その地域で農業に携わる全ての公的機関や民間企業等の英知を結集し、農業者とともに5年後、10年後の地域農業を思い描き、力強い水田農業経営体を育成する場であると考えている。

謝 辞

最後に、この記事の執筆に当たり、福岡県筑後農林事務所南筑後普及指導センターの小嶋宏明主任技師から貴重な情報提供とご助言を頂いた。ここに深く感謝申し上げる。

統計データから

野生鳥獣による農作物の被害状況（平成30年度）

農林水産省は、野生鳥獣による農作物被害状況について、市町村からの報告を基に都道府県が集計し、それを基に全国の被害状況を取りまとめ公表している。

それをみると、その被害額は6年連続で減少しているものの、平成30年度の被害額は約158億円と、依然として高い水準にある。鳥獣被害は営農意欲の減退や耕作放棄・離農の増加を加速し、統計数字以上に農業・農村に深刻な影響を及ぼしている。

野生鳥獣による主な農作物被害状況（被害金額）を、被害の大きいものを中心に抜粋し、表に示した。そのなかで、獣類による被害額が全体の81.6%を占める。鳥類ではカラスの被害が最も大きく、鳥害の49%を占めている。以下、カモ、ヒヨ

ドリ、スズメ、ムクドリ順になっている。獣類ではシカが42%、イノシシが36%とこの二つが突出している。

農作物に対する被害額は、イネが37.8億円、野菜が36.9億円、果樹が33.1億円、飼料作物が28.1億円となっている。イネではイノシシの被害が27億円で66%を占め最も大きい。続いてシカ、スズメの被害が目立つ。ムギ類、マメ類ではシカの被害。果樹ではイノシシの9億円、カラスの7億円、サル、シカの3億円の被害となっている。飼料作物ではシカ被害が24億円と85%を占めている。野菜ではイノシシ、シカ、カラス、サル、イモ類ではイノシシ、シカの被害が目立っている。

(K.O)

表 野生鳥獣による農作物被害状況（平成30年度 被害金額：万円）

区分	イネ	ムギ類	マメ類	果樹	飼料作物	野菜	いも類	合計	(%)	
鳥類	カラス	9,097	2,998	3,759	71,562	10,440	41,805	1,346	142,494	49.2
	カモ	4,545	3,491	75	54	6	29,174	2	38,615	13.3
	ヒヨドリ	175	0	15	17,092	1	13,253	69	30,656	10.6
	スズメ	14,478	471	17	7,043	9	1,352	3	23,734	8.2
	ムクドリ	74	3	78	17,349	0	1,580	2	19,087	6.6
	計	33,638	9,154	7,356	115,264	12,983	105,348	1,832	289,666	100
獣類	シカ	80,496	14,380	29,105	34,678	238,800	74,972	29,121	541,013	42.0
	イノシシ	249,286	1,289	5,951	94,894	7,835	66,177	35,886	473,304	36.7
	サル	7,120	209	1,651	32,350	571	33,625	5,144	82,305	6.4
	ハクビシン	190	2	554	19,089	99	19,530	502	40,134	3.1
	クマ	988	1,039	589	8,405	17,855	5,445	434	38,290	3.0
	アライグマ	695	39	466	10,261	1,846	23,479	502	37,533	2.9
計	344,287	17,491	40,212	216,032	268,199	263,178	76,013	1,288,074	100	
合計	377,925	26,645	47,567	331,296	281,182	368,526	77,845	1,577,740	—	